No. 231

句読点・大文字・数字の書き方ルール

句読点は文の切れ目と関係を示す「交通標識」。カンマの打ち方、コロン・セミコロン、大文字、数字の書き方を答案で迷わないレベルまで整理する。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 カンマだけで2つの文をつながない（ピリオドか接続詞）
2 コロンの前は完全な文、後ろはその中身の具体化
3 文頭の数字は単語で。1〜9は単語、10以上は数字が基本

句読点は「文の設計図」を見せる記号

日本語の読点「、」は息つぎの場所に打てるが、英語のカンマは**文の構造**で打つ場所が決まる。だから句読点の誤りは「この人は文の切れ目がわかっていない」と読まれ、文法の減点になりやすい。**いちばん多くて重いのは、カンマで2文をつなぐ誤り（コンマ・スプライス）**。まずこれをゼロにする。

◆ カンマ：打つ所・打たない所 7

カンマは「文の部品の境目」に打つ。気分で打たない。

☐ 1 文頭の句・節の後

In addition / However などの文頭の語句、If・When・Because の節が前に来たら、その後にカンマ。短い句なら省くこともあるが、答案では打つのが無難。

> When I entered high school, I joined the brass band.
> 高校に入った時、吹奏楽部に入った。

☐ 2 and / but / so で2文

主語と動詞がそろった2文を等位接続詞でつなぐ時は、接続詞の前にカンマを打つのが一般的。

> The train was crowded, but I managed to get a seat.
> 電車は混んでいたが、なんとか座れた。

☐ 3 3つ以上の列挙

A, B, and C。最後の and の前のカンマ（オックスフォードカンマ）はアメリカ英語で多く、打たない書き方もある。答案の中ではどちらかに統一する。

> Students need sleep, exercise, and a balanced diet.
> 生徒には睡眠、運動、バランスのよい食事が必要だ。

☐ 4 非制限用法は両側にカンマ

補足説明の関係詞節は前後をカンマで挟む。カンマの有無で意味が変わる。カンマの後に that は使えない（who・which を使う）。

> My sister, who lives in Osaka, is a nurse.
> 姉は大阪に住んでいて、看護師だ（補足。普通は姉が1人）。

> My sister who lives in Osaka is a nurse.
> 大阪に住んでいる方の姉は看護師だ（どの姉かを限定）。

☐ 5 挿入は両側にカンマ

文の途中に however・for example などを挟む時は、前後の両方にカンマ。片側だけは誤り。

> Many students, however, prefer printed textbooks.
> しかし、多くの生徒は紙の教科書を好む。

× Many students however, prefer printed textbooks.

☐ 6 主語と動詞の間には打たない

主語が長くても、主語と動詞の間にカンマは打たない。日本語の「〜は、」の感覚で打つと誤り。

> What surprised me most was the size of the city.
> いちばん驚いたのはその都市の大きさだった。

× What surprised me most, was the size of the city.

☐ 7 that 節の前には打たない

think・believe・say の後の that 節（that 省略も含む）の前にカンマは不要。

> I believe that school uniforms are necessary.
> 制服は必要だと考える。

× I believe, that school uniforms are necessary.

◆ ピリオド・コロン・セミコロン・ダッシュ 6

☐ 1 間接疑問はピリオドで終える

文の中に疑問詞節が入っていても、文全体が平叙文ならピリオド。I wonder 〜 も同じ。

> I wonder why he left so early.
> 彼はなぜそんなに早く帰ったのだろう。

× I wonder why he left so early?

☐ 2 略語のピリオド

Mr. / Ms. / Dr. / a.m. / p.m. はアメリカ英語でピリオドを打つ（イギリス英語では Mr のように省くことが多い）。文末が略語なら、ピリオドは1つでよい。

> The class starts at 8:30 a.m.
> 授業は午前8時30分に始まる。

☐ 3 コロン＝「つまり、こういうこと」

前は完全な文、後ろはその中身（リスト・説明）。動詞や前置詞の直後に置くのは誤り。

> I have two goals: to pass the exam and to study abroad.
> 目標は2つある。試験に合格することと留学することだ。

× My goals are: to pass the exam and to study abroad.

☐ 4 セミコロン＝弱いピリオド

関係の深い2つの完全な文を1文にする。; however, の形でも使える。迷ったらピリオドで切る方が安全。

> The plan is expensive; however, it will save time.
> その計画は高くつくが、時間の節約になる。

☐ 5 ダッシュは答案で多用しない

ダッシュ（—）は挿入・強調・言い換え。くだけた印象になりやすいので、答案では1回までにするか、カンマや括弧で書く。手書きではハイフンよりはっきり長く書く。

> Only one thing matters to him—winning.
> 彼にとって大事なのは1つ、勝つことだけだ。

☐ 6 ハイフンは「名詞の前」で語をつなぐ

2語がまとまって名詞の前から修飾する時はハイフンでつなぐことが多い（-ly 副詞の a carefully written letter、high school などは例外）。名詞の後ろ（補語）では普通つながない。

> She is a well-known writer.
> 彼女は有名な作家だ。

> The writer is well known in Japan.
> その作家は日本でよく知られている。

◆ 引用符・アポストロフィ・括弧 6

☐ 1 引用符はアメリカ式で

アメリカ英語はダブル(“ ”)で、ピリオド・カンマは引用符の内側。イギリス英語はシングル(‘ ’)が多い。答案はアメリカ式にそろえる。

> The teacher said, “Practice makes perfect.”
> 先生は「習うより慣れよ」と言った。

☐ 2 語そのものを示す時も引用符

「〜という語」と言う時は引用符で囲む。印刷物ではイタリックも使う。

> The word “mottainai” has no exact English equivalent.
> 「もったいない」という語にぴったりの英語はない。

☐ 3 所有のアポストロフィ

単数は ’s(a student’s bag)、s で終わる複数は ’ だけ(students’ bags)、s で終わらない複数は ’s(children’s)。

> The teachers' room is on the second floor.
> 職員室は2階にある。

☐ 4 its と it’s は別物

its は「それの」(所有格)、it’s は it is / it has の短縮形。所有なら its。it is / it has の意味なら、答案では短縮せずに書くのが無難。

> The company changed its name last year.
> その会社は昨年、社名を変えた。

× The company changed it’s name last year.

☐ 5 複数形にアポストロフィは不要

年代や略語の複数形は s だけ。the 1990s、CDs、PCs。

> Smartphones became popular in the 2010s.
> スマホは2010年代に普及した。

× in the 2010’s

☐ 6 括弧は補足だけに

括弧の中身を消しても文が成り立つように書く。答案で多用すると読みにくい。慶應経済のような出典表示 Smith (2025) は例外的に必須。

> Kyoto (the old capital of Japan) attracts many tourists.
> 京都(日本の古都)は多くの観光客を引きつける。

◆ 大文字にする語・しない語

固有の1つを指す名前は大文字、一般的な語は小文字。

大文字	小文字	ポイント
I(文中でも)	me / my	主語の I だけは常に大文字
Monday / April	spring / summer	曜日・月は大文字、季節は小文字
English / Japanese	math / history / science	言語・国民は大文字、教科名は小文字
Japan / Tokyo / Mt. Fuji	a country / a city	固有名詞だけ大文字
East Asia / the Middle East	go north / the north of Japan	地域名は大文字、方角は小文字
President Lincoln	the president of the club	名前の前の肩書きは大文字
Christmas / New Year’s Day	a holiday / a festival	祝日・行事の名前は大文字
—	the internet / the 21st century	internet は今は小文字が主流

◆ 数字は単語で？数字で？

一般的な書き方。細かい決まりはスタイルによって異なる。

場面	書き方	例
1〜9	単語で書くことが多い	three reasons / two hours
10以上	数字で書くことが多い	15 students / 120 people
文頭	単語か、語順を変えるのが基本	Twenty students joined.
21〜99を単語で	十の位と一の位をハイフンで	twenty-one / forty-five
年・日付・時刻	数字	in 2026 / on April 1 / at 7:30
割合	数字+percent(表なら %)	30 percent of students
大きな数	数の後の million に s なし	1.5 million(millions of は可)
お金	yen に s を付けない	500 yen / 20 dollars
年代・世紀	s だけ／序数は小文字で	the 1990s / the 21st century
範囲	文中では from 〜 to で	from 10 to 20 people

◆ 句読点・表記の減点パターン 8

☐ × ~~I was tired, I went to bed early.~~
○ I was tired, so I went to bed early.
カンマだけで2文をつなぐ誤り。so を入れるかピリオドで切る。

☐ × ~~It is cheap, however, it breaks easily.~~
○ It is cheap. However, it breaks easily.
however は副詞。前はピリオドかセミコロン。

☐ × ~~Kyoto, that I visited last year, is beautiful.~~
○ Kyoto, which I visited last year, is beautiful.
非制限用法(カンマつき)に that は使えない。

☐ × ~~20 students took part in the event.~~
○ Twenty students took part in the event.
数字で文を始めない。単語で書くか語順を変える。

☐ × ~~I study english and Math.~~
○ I study English and math.
言語は大文字、教科名は小文字。逆にしやすい。

☐ × ~~a ten years old boy~~
○ a ten-year-old boy
名詞の前の複合語はハイフンでつなぎ、year は単数形。

☐ × ~~My favorite subjects are: math and music.~~
○ My favorite subjects are math and music.
動詞の直後にコロンは打たない。コロンの前は完全な文。

☐ × ~~the students’s opinions~~
○ the students’ opinions
s で終わる複数の所有格はアポストロフィだけ。

手書き答案の見落としポイント

①カンマとピリオドは形で区別する(カンマは下にしっぽ)。②c / o / s / v / w / x / z は大文字と小文字で形がほぼ同じなので、大きさで書き分ける。③ハイフン(-)は短く、ダッシュ(—)は長く。④文の頭の1文字は必ず大文字、I は文中でも大文字。採点者が「どちらにも読める」字は、正解と見てもらえるとは限らない。

◆ 確認テスト

1 My brother, ＿＿ lives in Kobe, is a doctor.
a who　b what　c whom　d that

2 I have two goals ＿＿ to pass the exam and to study abroad.
a :　b ?　c ;　d ,

3 The company changed ＿＿ name.
a it is　b its　c it's　d its'

4 ＿＿ students passed the test.
a Twenties　b Twenty　c Twentieth　d 20's

5 Smartphones spread quickly in the ＿＿.
a 2010s'　b 2010s　c 2010 years　d 2010's

6 正しいのはどれ？
a She is a well-known writer.　b She is a wellknown writer.
c She is a well known-writer.　d She is a well, known writer.

7 大文字・小文字が正しいのは？
a i study English in spring.　b I study English in Spring.
c I study english in Spring.　d I study English in spring.

8 It is expensive ＿＿ however, it is worth the price.
a :　b ,　c ;　d —

◆ 解答

1 who カンマつき(非制限用法)に that は不可。
2 : 完全な文の後で中身を示すのはコロン。
3 its 所有格は its。it's は it is。
4 Twenty 文頭の数は単語で書くのが基本。
5 2010s 年代は s だけ。アポストロフィ不要。
6 She is a well-known writer. 名詞の前の複合形容詞はハイフンでつなぐ。
7 I study English in spring. 言語は大文字、季節は小文字。
8 ; however の前はセミコロンかピリオド。

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)